

1.

問1 (ア) $-\frac{13}{4} < x < \frac{9}{4}$ (イ) 6

問2 (ウ) 3 (エ) -1

問3 (オ) 0 (カ) $\frac{1}{2}$

問4 (キ) 2 (ク) 60°

問5 (ケ) 21 (コ) 21

2.

問1 (ア) $x - 2$ (イ) $8x - 13$

問2 (ウ) 2 (エ) $\frac{\sqrt{2}}{2}i$

問3 (オ) 4 (カ) 6 (キ) 10

問4 (ク) 9 (ケ) $\frac{1}{3}$

問5 (コ) $\frac{55}{6}$

3. (解答例)

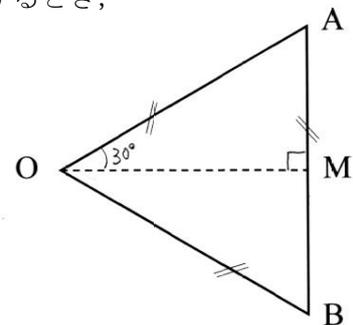
問1

正六角形は、円の中心と頂点を線分で結ぶと、6つの合同な正三角形からなる。
この正三角形の辺の長さを求めればよい。

・Pでは、正三角形の1辺が半径でもあるので、
「Pの辺の長さ」=2

・Qでは、正三角形をOABとして、辺ABの中点をMとするとき、
 $\triangle OAM$ は $\angle AOM=30^\circ$ の直角三角形であるから、

$$\begin{aligned} \text{「Qの辺の長さ」} &= AB = 2AM \\ &= 2 OM \tan 30^\circ \\ &= 2 \times 2 \times \frac{1}{\sqrt{3}} = \frac{4}{\sqrt{3}} = \frac{4\sqrt{3}}{3} \end{aligned}$$



問2

・問1で求めた辺の長さを持つ正三角形の面積を6倍すればよい。
Pの面積を S_P とすると、

$$S_P = 6 \times \frac{1}{2} \times 2^2 \sin 60^\circ = 6 \times 2 \times \frac{\sqrt{3}}{2} = 6\sqrt{3}$$

・正六角形Qの面積を S_Q とすると、

$$S_Q = 6 \times \frac{1}{2} \times \left(\frac{4}{\sqrt{3}}\right)^2 \sin 60^\circ = 3 \times \frac{4^2}{3} \times \frac{\sqrt{3}}{2} = 8\sqrt{3}$$

問3 P, Q と円の3つの図形の面積を比較する。

$$S_P < \pi \times 2^2 < S_Q$$

$$6\sqrt{3} < 4\pi < 8\sqrt{3}$$

$$\therefore \frac{3}{2}\sqrt{3} < \pi < 2\sqrt{3}$$

4. (解答例)

問1 球の中心 O から直円錐の底面に垂線 OH をおろすと、
 $x \geq 1$ のとき $OH = x - 1$ であり、 $x < 1$ のとき $OH = 1 - x$ であるから、
 $OH = |x - 1|$ となる。

底面の円上に点 P をとり、 $\triangle OHP$ に三平方の定理を用いると、

$$r^2 = OP^2 - OH^2 = 1 - |x - 1|^2 = 1 - (x - 1)^2$$

$$\therefore r = \sqrt{2x - x^2}$$

また、円錐の体積は、

$$\therefore V = \frac{1}{3} \pi r^2 x = \frac{1}{3} \pi (2x - x^2) x = \frac{1}{3} \pi (2x^2 - x^3)$$

問2 問1の V を x で微分して、極値を求める。

$$V' = \frac{1}{3} \pi (4x - 3x^2) = -\pi x \left(x - \frac{4}{3} \right)$$

定義域 $0 < x < 2$ に注意して、V の増減表をかくと次のようになる。

x	0	...	$\frac{4}{3}$...	2
V'		+	0	-	
V		↗	極大	↘	

増減表より V は $x = \frac{4}{3}$ のとき最大となり、最大値 V_1 は、

$$V_1 = \frac{\pi}{3} \left(2 \times \left(\frac{4}{3} \right)^2 - \left(\frac{4}{3} \right)^3 \right) = \frac{4^2 \pi}{3^3} \left(2 - \frac{4}{3} \right) = \frac{4^2 \times 2 \pi}{3^4} = \frac{32}{81} \pi$$

である。また、球の体積は $V_2 = \frac{4}{3} \pi \times 1^3 = \frac{4}{3} \pi$ である。

$$\therefore V_1 : V_2 = \frac{32}{81} \pi : \frac{4}{3} \pi = 8 : 27$$

問3 以下の事項が何らかの形で表現されていれば満点とする。

<作図上のポイント>

- ・定義域: $0 < x < 2$ が明記されている。
- ・x, y, 原点 O の表示がある。
- ・原点 (0, 0) 及び座標 (2, 0) の点は白抜きの○で示されていること。
- ・極値の座標が明示されている。
- ・滑らかな曲線が描かれて、定義域以外の範囲は破線で輪郭がわかるように描かれている。

